

● 「第 37 回さっぽろホワイトイルミネーション」について

大通公園をメイン会場に、平成 29 年 11 月 24 日から平成 30 年 3 月 14 日まで「第 37 回 さっぽろホワイトイルミネーション」を開催します。

「さっぽろホワイトイルミネーション」は、平成 27 年度から 3 年かけて、リニューアルを行っており、観光都市・札幌を象徴する「雪」と「光」の魅力をあらためて市民や観光客に発信しています。

リニューアル最終年度となる今回は、大通会場 7・8 丁目に、世界初となるブラックライト印刷技術を使用した光のトンネルのイルミネーション「光のエキシビジョントンネル」が新たに登場するほか、札幌市北 3 条広場（アカプラ）と札幌駅南口駅前広場が新会場として加わります。

日本新三大夜景都市・札幌の冬をロマンチックに彩る「光の芸術」を多くの市民・観光客に楽しんでいただきたいと考えています。

1 会場・会期

会場名	場所	会期
大通会場	大通公園 1 丁目 ～8 丁目	11 月 24 日（金）～ 12 月 25 日（月）[32 日間]
駅前通会場	北 4 条～南 4 条	11 月 24 日（金）～ 平成 30 年 2 月 12 日（月・祝）[81 日間]
南一条通会場	南 1 条西 1 丁目 ～3 丁目	11 月 24 日（金）～ 平成 30 年 3 月 14 日（水）[111 日間]
札幌市北 3 条広場 （アカプラ）会場【新規】	北 2 条西 4 丁目、 北 3 条西 4 丁目	
札幌駅南口 駅前広場会場【新規】	北 5 条西 3 丁目	

2 点灯時間・使用電球個数

(1) 点灯時間

16：30～22：00

※12月23日（土・祝）～25日（月）は16：30～24：00

(2) 使用電球個数：約 78 万个

3 大通会場 7・8 丁目会場【リニューアル】

(1) 名称

輝く光の世界が一転、美しい夜景が浮かびあがる！世界初の「光のエキシビジョントンネル」



(2) 特徴

① 光のトンネル

日本新三大夜景都市（札幌・長崎・神戸）のテーマカラーを表現。札幌の雪「白」、長崎のランタン「赤」、神戸の海「青」の色鮮やかな光に包まれる。

② ブラックライトパネル

数分おきにトンネル内が暗転。ブラックライトにより日本新三大夜景都市それぞれの美しい夜景パネルが浮かび上がり、幻想的な輝きを放つ。ブラックライト印刷技術^{※1}を使用した光のトンネルは世界初^{※2}

※1 ブラックライト（紫外線）に反応してカラフルに発光する特殊インキを使用して印刷する技術。

※2 夜景観光における国内唯一の事業団体である一般社団法人夜景観光コンベンション・ビューロー（丸々 もとお代表理事）から「世界初」の認定を受けている。

③ 屋外シアター

トンネルを抜けた先の大通会場の終着点に、幅 10 メートルを超える巨大スクリーンを設置し、日本新三大夜景都市のプロモーション動画を放映する。



▲新三大夜景各都市の色のイメージ

4 札幌市北3条広場（アカプラ）会場・札幌駅南口駅前広場会場【新会場】

これまで札幌駅前通地区活性化委員会が開催していた2つのイルミネーション会場を、さっぽろホワイトイルミネーションの会場として追加。札幌の中心街を一体的なイルミネーションの幻想的な光で彩る。

(1) 札幌市北3条広場（アカプラ）会場「アカプライルミネーション」

北海道に現存する中で最古の街路樹である、アカプラのイチョウ並木を光で演出する。

変幻自在に色が表現できる3色のLEDを用いたイルミネーションのほか、色が変わるスポットライトなどを設置し、北海道庁旧本庁舎（赤れんが庁舎）を望む札幌を象徴する美しい景観を一層鮮やかに演出する。

また、サウンドアーティストの大黒 淳一氏による音楽と光を連動させた演出を行う。



(2) 札幌駅南口駅前広場会場「エキヒロイルミネーション」

JR タワー外壁に面したプラットフォームや、メインとなる高さ10メートルのデザインツリーの光の装飾により、札幌の玄関口を華やかに演出する。



5 その他大通会場（1～6丁目）コンセプト

(1) 1丁目会場「はじまりの『ラブ・ツリー』」

テーマは「LOVE」。ハートがモチーフのラブ・ツリーが今年も赤く情熱的に輝く。



(2) 2丁目会場（「第16回ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」会場）

協賛行事の「第16回ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」（11月25日～12月24日）会場の中心に、これまで設置していた「宇宙の領域」に代わる、大型のツリーを設置する。



(3) 3丁目会場「雪のいぶき『スノークリスタル』」

色鮮やかに変化する大きなスノークリスタルの演出が楽しめる幻想的な会場。3丁目会場のテーマカラーのブルーを基調としたグランドイルミネーションも会場を彩る。



(4) 4丁目会場「輝きの『ジュエリーパレス』」

光の噴水「スパークファウンテン」とダイヤモンドをモチーフにした光の宮殿「ジュエリーパレス」が、ゴールドとピンクに光り輝く。また、パープルとピンクを基調としたグランドイルミネーションも設置する。



(5) 5丁目会場「ほほえみの『トゥインクルガーデン』」

ゴールドに輝くシンボルツリーやシャイニングボールを設置するほか、ホットドリンクやフードを楽しめる。また、来場者が撮影を楽しめるガーデン風フォトスポットを設置する。



(6) 6丁目会場「煌めきの『フォレストサークル』」

大きな樹木が立ち並ぶ空間の中でグリーンに輝くボールが、クリスマスオーナメントの中に入り込んだような楽しさを演出する。また、グリーンを基調としたグランドイルミネーションも設置する。



6 点灯式

- (1) 日時：11月24日（金）16：30～
- (2) 場所：大通公園西3丁目「スノークリスタル」前
- (3) 内容：主催者あいさつ、開催宣言、点灯カウントダウン、コラボレートソングの紹介など

7 環境に配慮した取り組み

(1) LED 電球の使用

白熱電球に比べて消費電力が少ない LED 電球を活用する。今年から、使用する電球の100%がLED電球となる。

(2) バイオディーゼル燃料（BDF）による発電

廃食油から精製したBDFも使用して、大通会場におけるオブジェ点灯のための発電を行う。飲食ブースから出る使用済み食用油を回収するほか、2丁目会場に廃食油の回収ボックスを設置。

<参考>

1 さっぽろホワイトイルミネーションについて

日本初のイルミネーションとして、昭和56年にわずか1,048個の電球で始まった「さっぽろホワイトイルミネーション」は、札幌の美しい雪景色を光で表現するというユニークなコンセプトにより、当時全国的に大きなインパクトを与え、日本中にイルミネーションが広がる先駆的な役割を果たしてきた。

その後も、LED化やバイオディーゼル燃料を取り入れながら進化を続け、平成27年度からは、3年計画でリニューアルを実施し、観光都市札幌を象徴する「雪」と「光」の魅力をあらためて市民や観光客に発信している。

また、平成29年10月20日には、夜景観光における国内唯一の事業団体である一般社団法人夜景観光コンベンション・ビューローから、長崎県「ハウステンボス『光の王国』」や栃木県「あしかがフラワーパーク『光の花の庭』」とともに「日本三大イルミネーション」に認定された。

2 日本新三大夜景都市について

平成27年10月に、一般社団法人夜景観光コンベンション・ビューローが、国内外の夜景観光活性化を目指し、全国約4,500人の夜景鑑賞士に投票を実施。投票された各夜景スポットを都市別に分類し、集計結果から上位3都市（1位：長崎市、2位：札幌市、3位：神戸市）を「日本新三大夜景都市」に認定。近年の夜間観光環境の急速な変化を鑑み、同認定ブランドは3年に一度更新を行う予定。

問い合わせ先

さっぽろホワイトイルミネーション実行委員会事務局（札幌観光協会内） 前・尾上
電話：281-6400、ファクス：231-1970
経済観光局観光・MICE推進部観光・MICE推進課 大内・末松・伊倉
電話：211-2376、ファクス：218-5129